

京都のミカタ

京都市再生へ 新たな挑戦 コロナを克服し 新時代へ



公明党京都市会議員団は、新型コロナウイルス第6波への対策に万全を期すとともに、将来の感染症危機に備え、感染拡大時でも適切な治療が受けられるよう、国・府とのネットワークで、医療提供体制の再構築を行うなど、市民の命と健康を守る体制を強化する取組を推進します。

また、コロナ禍から生活や事業を守る支援策に注力し、京都経済の再興に当たっては、Go Toトラベル事業をはじめとする京都観光の回復を推進し、地域経済の活性化に取り組みます。そして、新たなマイナポイントを付与することにより、マイナンバーカードの更なる普及を促進し、消費喚起につなげ地域経済の活性化に取り組みます。

公明党京都市会議員団は今回のコロナ危機を、持続可能な社会の構築に向けた時代の転換点としなければならぬと考えます。安心安全な社会の構築へ、これからも小さな声を聴く力を発揮し全力で働いてまいります。

令和2年度京都市歳入歳出決算

令和2年度京都市決算は、新型コロナウイルス感染症の拡大という、市民の命と暮らしを脅かす状況の中、本市にとって極めて厳しい決算年度となりました。

<令和2年度一般会計決算>

歳入総額 1兆648億円 - 歳出総額 1兆746億円 - 繰越財源 74億円
= △172億円
(特別の財源対策 169億円追加で △3億円)

一般会計では、新型コロナ対策のため10回に及ぶ補正予算を実施しています。

市バス・地下鉄事業では利用者が一日10万人以上減少、運賃収入は年間150億円減少し、市バス△48億500万円、地下鉄△53億9200万円でした。特に地下鉄事業においては累積資金不足が371億6000万円、財政健全化法に基づく経営健全化団体に該当するため、あらゆる対策を講じ、将来にわたり持続可能な市民の足として守っていかねばなりません。

上下水道事業では、節水型社会の定着による水需要の減少に加え新型コロナウイルスの影響により、水道事業においては経常収益が前年度比11億2600万円減少、下水道事業は前年度比9億3500万円の減少となりました。厳しい経営環境の続く中ですが、市民生活を支える重要なライフラインである上下水道を将来にわたり守り続けることが求められています。

公明党京都市会議員団としても、国・地方のネットワークを活かし、できる限りの支援を国に対しても要望しながら、この危機的状況を打開するために鋭意取り組んでまいります。

令和4年度予算要望を門川市長に提出

公明党京都市会議員団は10月18日、門川市長に令和4年度予算に対する要望を行いました。

予算要望ではコロナ禍と財政危機という2つの危機を乗り越え、市民の暮らしと安全を何としても守り、誰もが安心して過ごせるよう、持続可能な市政運営を実現するべく、全94項目を要望いたしました。

コロナ克服と行財政改革を行うため、万全の体制を構築するとともに、市民生活の安全安心と京都経済の回復のための施策を間断なく実行していく必要があります。

公明党議員団としても国と歩調をあわせ、京都市の抱える課題に果敢に取り組んでいく決意です。





市民生活の向上へ代表質問



京都市会本会議の代表質問で、公明党京都市会議員団は市民生活向上のため京都市政について質問と提言を行いました。

令和3年5月市会

湯浅 光彦 議員(右京区)

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策強化
 - 行財政改革計画
 - LGBT等の性的少数者に係る取組
- ワクチン接種体制を医師会と連携し拡充。各学校等ではICTを活用し教育活動の継続と感染拡大防止に取り組むとの答弁。

行財政改革計画については、現在の制度や事業を見直すと共に真に支援を必要とする方へのサポートを行い、誰一人取り残さない社会の実現をめざすとの答弁。

パートナースhip制度において他都市と連携するとともに、思春期の児童・保護者に性の多様性への理解を深めるリーフレットを作成・活用するとの答弁がありました。

兵藤 しんいち 議員(北区)

- 再犯防止の推進
- ヤングケアラーへの取組
- 観光推進(アストロリズム)

再犯防止については犯罪被害者及び加害者家族フォローにも言及したところ、地域啓発の中で取り組むとの答弁。ヤングケアラーへの取組については本市による実態調査の要望に対し、実施を検討するとの答弁。星空環境や天文施設等を活用したアストロリズム推進については、高雄地域での取組も含めた新たな観光施策を検討するとの答弁がありました。

令和3年9月市会

青野 仁志 議員(中京区)

- 行財政改革計画における成長戦略
- 京都スタートアップの機能強化

美術館と学校の連携で鑑賞教育の推進

成長戦略の推進については、世界から人や投資を呼び込むグローバル戦略に取り組み、またスタートアップの機能強化についてはコミュニティの形成と投資環境作りに取り組みとの市長答弁。更に美術鑑賞教育については美術館と教育委員会・学校の一層の連携で、モデルとなる取組を推進すると副市長が答弁しました。

国本 友利 議員(左京区)

- 自治体クラウドファンディング
- 京都市の水災害対策
- マイナバーカードの利便性向上

国のデジタル化の推進にあたり、マイナバーカードを活用する中で、オンライン申請など、市民生活の利便性向上について質問。質問に対し、副市長から国のデジタル化と歩調を合わせ、マイナバーカードの積極的な活用を推進するとの答弁がありました。

松田 けい子 議員(山科区)

- 電子図書館・電子書籍貸出サービスの導入
- インクルーシブな公園・遊具の導入
- 分譲マンションの管理適正化

共生社会の実現へ、障がいのある人もない人も誰もが楽しめる遊具等を備えた公園づくりに取り組むとの答弁。また、マンションの適正化推進計画を策定し、認定制度を導入するとともに、認定された中古マンションが市場において適切に評価される環境整備を促進するとの答弁がありました。



公明党京都市会議員団の顔ぶれ

<p>北区</p>  <p>ひょうどう 兵藤 しんいち 1期 まちづくり委員会 TEL: 075-231-7407</p>	<p>左京区</p>  <p>くにもと ともとし 国本 友利 3期 文化環境委員会 TEL: 080-9804-7802</p>	<p>中京区</p>  <p>あおの ひとし 青野 仁志 3期 総務消防委員会 TEL: 090-8369-9953</p>	<p>山科区</p>  <p>まつだ けいこ 松田 けい子 1期 文化環境委員会 TEL: 070-2266-9499</p>	<p>南区</p>  <p>だいどう よしとも 大道 義知 8期 まちづくり委員会 TEL: 075-921-3172</p>
<p>右京区</p>  <p>ゆあさ みつひこ 湯浅 光彦 5期 総務消防委員会 TEL: 075-873-2501</p>	<p>西京区</p>  <p>ひらやま よしかず 平山 よしかず 4期 教育福祉委員会 TEL: 075-393-8806</p>	<p>伏見区</p>  <p>そが おさむ 曾我 修 5期 産業交通水道委員会 TEL: 090-8934-4643</p>	<p>伏見区</p>  <p>よしだ たかお 吉田 孝雄 4期 産業交通水道委員会 TEL: 080-9804-7801</p>	<p>伏見区</p>  <p>ゆうこ かわしま 優子 2期 教育福祉委員会 TEL: 080-9804-9844</p>

京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター 午前8時～午後9時(年中無休) 市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。

● TEL:075(661)3755 ● FAX:075(661)5855

● 電子メール(以下のホームページから)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを 公明党京都市会議員団にお寄せください

- TEL: 075(222)3732
- FAX: 075(212)3608
- 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
- ホームページ: [公明党京都市会](#)